

平成 29 年 1 月 30 日

あきる野市議会議長 殿

会派名 くさしぎ

代表者 辻 よし子

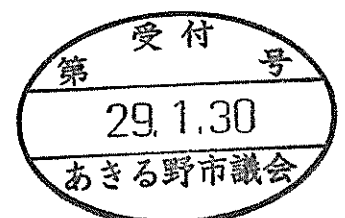


会派の（ 調査研究 ・ 研修 ） 報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1 調査研究または 研修実施日	平成 29 年 1 月 27 日（金）～ 平成 29 年 1 月 28 日（土）
2 調査研究または 研修の場所	富士電機能力開発センター
3 調査研究事項 または研修名	財政分析ステップアップ講座
4 参加者氏名 （ 1 名）	辻 よし子
5 調査研究または 研修の概要及び 感想等	別紙のとおり



【概 要】

<1日目>

第1講 地方財政の健全化とは何か

『平成26年度の財政状況資料集』について、実質公債費比率と将来負担比率を例に、読み解き方を学び、演習をおこなった。

第2講 地方交付税算定台帳を使ってわがまちの地方交付税に強くなろう

地方交付税で措置する理論値と実態値との関係や、臨時財政対策債がなぜ「実質的交付税」とされるのかなどについて、地方交付税算定台帳から読み解いた。

第3講 地方自治体財政健全化法を活かすには

総務省提出資料 総括表の①～④を用いて、平成22年～26年の経年変化を分析した。

<2日目>

第4講 行財政改革の手順

財政状況資料集から、都市の持続的発展を可能にするための性質別歳出の手法について学んだ。特に、補助費等の改革や地域循環型経済からの物件費の見直しについて考えた。

第5講 基本計画と財政フレームの検証

長期総合計画において、財政見通しがどのように明確化されているか、いくつかの自治体を例に分析した。

【感想等】

昨年受講した財政分析基礎講座に続くステップアップ講座であった。財政分析の基礎がまだ十分身についていない中でのステップアップ講座は、内容的にかなり難しかった。しかし、地方交付税の算定のしくみや、臨時財政対策債が出されてきた背景などについて学ぶことができ、財政を分析するための重要な視点が得られた。特に、本研修会では講師の話聞くだけでなく、あきる野市の財政資料をもとに分析をおこなう演習があったため、理解が深まった。

また、各自治体の長期総合計画では、どのように財政見通しについて記述しているか等、市民に対する財政情報の提供の違いについて比較検討した点が興味深かった。

今回学んだ財政分析の手法をもとに、あきる野市の財政の経年変化を見てみるつもりである。



講義の様子